

# 出入国在留管理庁 ヒアリング



COLORS 代表  
Cinthia Yukimi Miyagi  
宮城 ユキミ

# 1 経歴



- ブラジル、サンパウロ州生まれ
- 2005年、10歳の時に家族と来日
- 来日目的は出稼ぎ、3年のみ滞在予定だったが、  
家族も日本に馴染み、現在16年目
- 母方：日系ブラジル人2世、両親日本人
- 父方：日本生まれ(沖縄)、ブラジル育ち
- 日本の公立の小中高で教育を受けた
- 静岡文化芸術大学卒業後、一般企業へ就職



# 2 小学校時代

- 来日後、日本の公立小学校6年生に編入
- 習字、音楽の授業、給食、掃除など様々な文化の違い
- 日本語は全くできなかったため、国語と社会の授業で「取り出し」スタイルで1から日本語を学んだ  
取り出し内容：主に日本語、漢字の勉強（漢字ドリル）
- その他の配慮　ただし、宿題はしっかり提出
  - ・ 読書の時間（ポル語の本でOK）
  - ・ 本読みカード（取り出し教室で読んだもの）
  - ・ 書き取り（取り出し教室で学んでいる漢字）



# 3 中学校時代

- 日本語教室へ通うことを勧められるが、断った  
理由：午後の授業を休まなければならないため  
自分にとって、他の人と「特別すぎる扱い」は嫌だった  
他の科目で遅れが生じるのが嫌だった
- 部活動で日本の上下関係、敬語、先輩後輩の概念を学んだ
- 日本語を覚えていく一方で、使用頻度が減少した母語  
ポルトガル語の衰えを感じた



# 4 高校時代と進学

○「日本の高校に進学しないのはもったいない」

中学校の三者面談の際、当時の担任からポルトガル語が学べる高校の存在を知る

・浜松市立高等学校 インターナショナルクラス（2020年度で閉鎖）

○それ以降、合格するために必死で勉強、無事合格

○自分と同じような境遇の仲間に出会う

○進学を果たした自分たちの存在の希少さを知って、自分の経験を活かしてできることがあるのでは？と思い、

大学進学へ



# 5 大学進学へ

## ○大学進学の大きな壁：

センター試験：日本人と同じ土俵で戦えるか？

入学費、授業料：奨学金情報、外国人でも借りられるのか？

○先輩や学校の先生などから様々な情報を得て、大学へ進学

○大学では、「自分にしかできないこと」をモットーに  
様々な活動に携わる

# 6 主な活動

○中学生の学習支援

○外国籍児童就学前学校体験教室

○浜松国際交流協会主催

「第3回グローバルフェア若者企画 ～RESTART～」

「78ヶ国の浜松市民が大集合！？未来はみんなでつくる！」

○Festa Julina na SUAC を開催

○COLORS（HICE協力・任意団体）の立ち上げ

○III Fórum Educação Japão Brasil 2014 “O Futuro Da Educação Dos Brasileiros No Japão”（名古屋開催ブラジル教育フォーラムで発表）

大学初の取り組み：  
外国ルーツ学生が  
企画・運営する  
イベント

- ・ 日本の方  
→ ブラジル文化を  
知るきっかけ
- ・ ブラジル  
→ 日本の大学を  
知るきっかけ



# Festa Julina

# na S

フェスタ・ジュリーナ・ナスアック  
ブラジルの伝統的な行事  
踊って、楽しんで、ブラジルを知ろう～  
Vamos dançar, festejar e conhecer a SUAC

Data: 12 de julho de 2014 (sábado) 11h00  
Local: Universidade de Arte e Cultura de S  
☆ Deal no hiroba (espaço a céu aberto)  
(\*Em caso de chuva, refeitório, 3º andar)

日程: 7月12日 (土) 11:00~16:00  
場所: 静岡文化芸術大学  
☆ 出合いの広場 (雨天時/北棟3階 学生食堂)

日本人も、ブラジル人も  
そうでない人も、WELCOME!  
Japoneses, brasileiros,  
todos são bem-vindos!!



©静岡文化芸術大学、日伯文化交流協会 / 後援:浜松市、在浜松ブラジル総領事館、公益財団法人日伯文化交流協会  
このイベントは静岡文化芸術大学 イベント開催費「フェスタ・ジュリーナ SUAC」(実施代表者:池上)



# 7 現在

## ○仕事：

県内の自動車部品メーカー 営業職（主に海外営業）  
言語や異文化理解等、自分の強みを活かしている

○ Communicate with

○ Others to

○ Learn

○ Other

○ Roots and

○ Stories

○ COLORSの活動を継続

高校へ出向いてワークショップを行う

「出張カラース」

就職応援セミナー、講演会等を運営、実施

○ IIEC 中学生学習支援コーディネーター、  
母語支援



# 8 今後やっていきたいこと

## ○COLORSとして

就職応援セミナー、高校卒業の進路支援

「正社員と派遣社員の違いは？」の説明（親向け、子ども向け）

## ○教育支援に関して

支援している中学生に高校進学をサポート

## ○必要なこと：

- ・ 外国ルーツの親への教育 子どもの教育（人生）は親の意思で決定  
デカセギで来日したはずが、5年以上日本にいる  
→ブラジルに戻るのか？日本で生きていくのか？
- ・ 母語（継承語）教育の大切さ  
完璧に話せなくても、母語で話せる場があるか
- ・ ブラジル人学校 “出口戦略” 卒業後も日本にすることが多い 就職先は？進学はどこに？

# 9 外国ルーツ支援について

・取り出し教室について（実際の経験から）

長所：来日間もない子どもに◎

→日本語の学習だけではなく、学校生活での困りごと、  
こころのケア、相談場所（気軽に話せる場所）

※担当教員によって左右される

短所：通常の授業で遅れが発生する可能性あり、  
長期化するとサボり場になる

☆目的、期限付きで取り出しを行う

☆必要な科目の見極め →分数が分からないまま中学へ



# 9 外国ルーツ支援について

- ・ プレスクールのような場所、制度

就学前のプレスクールはあるが、

自分のように途中で編入した生徒に対するプレスクールが必要

基本的な学校のこと、ひらがな・カタカナ、学力測定等  
初期指導が必要

→学校と連携、その後取り出し教室へ引継ぎ

※日本語ゼロ、初来日、日本の学校初体験を想定



# 9 外国ルーツ支援について

- ・ 親に対する情報提供

小中学校の情報はたくさんある◎

義務教育以降の情報提供も必要

→ 高校進学（定時制、普通科の違い）

→ 専門学校、大学 学歴の違いと就職の関係

- ・ 進学のパ壁になっているもの

経済的な理由（制服、教科書、交通費）

家庭事情（親は子どもに働いてほしいと思っている）

日本語能力



# 10 行政に求めること

- ・ 公立高校 国際科のようなクラス設置（進学校）

→勉強できるが、日本語がまだ不足している子ども向け

例：3科目受験、総合得点で合否

→日本人の生徒も多文化共生、当たり前じゃない価値観を学ぶことができる

# 10 行政に求めること

- ・ 母語（継承語）の支援

いろいろな団体がPHL (Portuguese as a Heritage Language) を行っている

人材はいるが、ほとんどがボランティア

→経済的な支援できないか、人が集まる場所の提供

- ・ 情報提供

多言語での発信は良いが、必要なところに届いているか

# 1 1 外国ルーツの多様化

- ・ 外国ルーツの子どもの多様化、レベルは様々
  - 初来日で日本語ゼロの子ども
  - 日本生まれ、ブラジル人学校に通う子ども 日本語ゼロ
  - 日本生まれ、母語が分からない子ども ポル語ゼロ
  - ダブルリミテッドに近い子ども
    - 会話はできるが、論理的な思考が難しい
    - ポル語も日本語もレベルが低い

必要な支援はパターン、地域によって大きく変わる





ご清聴ありがとうございました

COLORS 宮城ユキミ

Facebook Page:

<https://www.facebook.com/hamamatsucolors/>

